

# 瓦版OOC新聞

## 第10号

発行者

2017年1月12日

大森氏おしやべり倶楽部

きのう1月11日(水)、(や  
まさん)が「佐野郷における東  
と西」(東島誠氏、『裾野市史』  
第8巻、二〇〇〇年)を大森氏  
の動向を中心に要約して解説  
した。

### 「佐野郷にみる東と西」より要約

#### 室町幕府と鎌倉府

『太平記』には京都の室町幕府と関東  
の鎌倉府が二つの国家として描かれてい  
る。鎌倉府は当時の資料にも「関東幕府」  
と呼ばれており、鎌倉府の公方は、実質的  
に將軍権力を有していたといつてよい。

鎌倉府発給文書が有効であった地域は  
関東と伊豆国で、関東分国と呼んでいる。  
一三七七(永和三)年の発給文書で関東  
公方が円覚寺に佐野郷を寄進している。従  
つて、佐野郷がこれ以前に室町幕府管轄領  
から鎌倉府管轄領へと移管されていたこ  
とが知ることができる。

佐野郷の守護権を関東管領山内上杉氏  
が有していることになるから、おそらく佐  
野郷を含む駿河郡(現在の駿東郡)域には、  
東と西の境界として今川氏の駿河守護権  
とは別に分郡守護権が存在し、関東管領山  
内上杉氏が、伊豆国と同様に領有してい  
たと見ることができる。

#### 佐野郷遵行と今川氏

(\*遵行:室町時代、將軍(あるいは鎌  
倉公方)の命を守護が下命すること。)

応永年間(一三九四〜一四二八)になる  
と今川氏の駿河国守護権が佐野郷に及ん  
できた。今川氏が守護半済を通じて佐野郷  
に關与してきた結果、それまでのように、  
佐野郷を関東分国である伊豆国に準じた  
扱にすることができなくなった。

佐野郷の支配は一四二八(正長元)年、  
室町幕府によって関東公方奉公衆大森氏  
から駿河守護配下の葛山氏に移った。

#### 大森氏と鎌倉府

大森氏は関東公方奉公衆で、大森彦六入  
道長親が円覚寺に佐野郷の年貢を請け負  
っている。大森頼春は、伊豆国府中關所  
の請負を円覚寺に誓約している。

大森氏は大高(たいこう)氏排除以降十  
四世紀末から一四二八(正長元)年までほ  
ぼ三十年間にわたつて佐野郷を当知行し  
てきた。鎌倉府を後盾に在地領主として  
君臨してきた。

#### 上杉禪秀の乱と大森氏

・一四一六(応永二十三)年の上杉禪秀の  
乱で、「鎌倉大草紙」などの軍記によれ  
ば関東公方足利持氏は箱根別当証実  
(大森刑部小輔との史料がある)の案

内で大森館に落ち延びた。これは公方持  
氏の奉公衆の中でも大森氏(頼春)が持  
氏に近い立場にいたためと推定される。

・上杉禪秀の乱で葛山氏も関東公方持氏  
方として戦っている。葛山氏はこの段  
階では関東公方持氏に仕えていて、室  
町幕府への接近を果たしていない。

#### 大森氏の小田原への進出

・大森氏は禪秀方の土肥、土屋の跡を得た。  
・一四二八(正長元)年、幕府は大森氏の  
当知行を停止して佐野郷の甲斐国守護  
武田信重に与えようとしたが、葛山氏  
が自分の本領であると幕府に訴え、認  
められて佐野郷を安堵された。

これは関東公方持氏の不穏動きに  
対して、これまで鎌倉府が伊豆国など  
関東分国のように下命することができ  
た駿東郡で他の駿河国と同じように室  
町幕府が遵行した処置であった。

・大森氏は佐野郷の当知行の停止後に相  
模国である小田原に入ったと思われる。  
(大森氏は駿東、足柄の両地域を領  
したのではない。(やまさん))

・佐野郷本領安堵後、葛山氏は幕府に接近  
し、一四三一年(永享三)年、一四三四  
年に將軍義教に太刀などの進物を献上  
している。一四三四(永享六)年に今川  
貞秋が駿河国半国守護として入部する

と葛山駿河守はその配下になった。

・一四三八(永享十)年(推定)、持氏は山  
内上杉憲実の伊豆国守護職を解き、大森  
憲頼が伊豆守と官途を改める。

但し、叙任権のある幕府の承認はな  
い。大森憲頼は実際には伊豆国に入れ  
なかった。

#### 永享の乱と大森、葛山氏

・一四三八(永享十)年に関東公方持氏と  
幕府・関東管領山内上杉憲実との間に永  
享の乱が起こる。

・永享の乱が起きると、葛山駿河守は駿河  
守護今川範忠を介して乱の發生の注進  
状を幕府に出した。葛山氏は幕府方にな  
った。

・関東の処置を任せられた上杉憲実は一  
部を除き手を付けられず、大森氏は持  
氏方の諸氏と同様に勢力を温存した。

(敗れた持氏方の大森氏が勢力を維  
持したのは何故かと疑問に思っていた。  
(やまさん))

・葛山氏は幕府奉公衆として一四四四(文  
安元)年頃の奉公衆番帳に名が見える。

(やまさん)の弁

惣領の大森伊豆守憲頼と箱根権現  
別当(実雄?)は足利持氏方として  
箱根水飲關所で戦った。弟の大森氏  
頼は関東管領上杉方に参加。この乱  
の後、憲頼から氏頼の大森氏の勢力  
が交替した。この辺をもっと調べま  
す。